

南町民センター指定管理者クリーン・ローズの評価 【評価委員総括表】

目的	一般住民の学習、保育、休養及び集会の用に供するために設置された本施設を、地域住民で構成され社会奉仕活動を行う団体たる指定管理者が、その能力を活用しつつ、地域住民等に対する住民サービスの効果及び効率を向上させ、もって地域コミュニティや福祉の一層の増進を図ること	
----	---	--

評価対象期間: 令和7年4月1日～令和7年9月30日

評価項目	評価視点	評価区分
1 施設の維持管理	・日常的な施設内外の清掃など利用者が気持ち良く使用できる環境を維持しているか ・定期的な巡回などで、危険箇所や異常を発見した際に、修繕や町への報告が速やかにされているか	良
2 利用者への対応	・町民の利用にあたり不公平が生じていないか ・利用日・利用時間の遵守が徹底されているか	良
3 施設運営の経費削減	・不用な電気・水道・電話などの使用を慎み経費削減に努めているか ・効率的な人員配置を行っているか	良
4 情報の管理・保護	・指定管理によって知り得た秘密や情報を外部に漏らしたり、他の目的に使用していないか ・個人情報に関する書類等の保管・保護が適切になされているか	良
5 災害時、緊急時に備えた危機管理体制	・開館時に警報が発令された場合、町と連携をとり適切な体制や処置がとれているか ・防災訓練を実施するなど、有事に備えた体制がとれているか ・館内で急病者が出了した場合、適切な体制や対応がとれているか	良
6 地域の各種団体との連携	・地域の各種団体との連携により利用の増加を図っているか	良

【所管課の総合評価】

令和7年度上半期は、利用の増加に伴い、利用料金収入及び光熱水費の支出が増加しているが、利用者の利便性を損うことのない範囲において節電等を心掛け、経費の削減に努めている。
施設・設備等の老朽化が進んでいるが、施設内外の点検や清掃を日常的に実施し安全確保に努めており、修繕が必要な箇所を発見した場合には担当課と連携をし速やかに対応することができている。
また、ローズサロンを町の社会福祉協議会と連携して行い、地域のコミュニティの場を設け近隣住民の方に親しまれる環境づくりや地域の絆を強めることに貢献している。
このようなことから、施設管理の責務が十分に果たされている。

【委員会の意見】

令和7年12月22日開催 令和7年度第2回岐南町指定管理者評価委員会での総評

協定書及び仕様書、事業計画書に基づき、適切な管理運営がなされていると認められ、所管課の評価を承認する。
施設の維持管理、花壇の整備など、利用者が気持ちよく利用できるよう環境を整えている。また、物価や光熱水費が高騰する中、節約を常に考え経費削減に努めている。
さらに、町や県の社会福祉協議会と協力し高齢者を対象としたコミュニティの場を設け、希薄化している地域のつながりを再生するような活動を企画していることは評価できる。